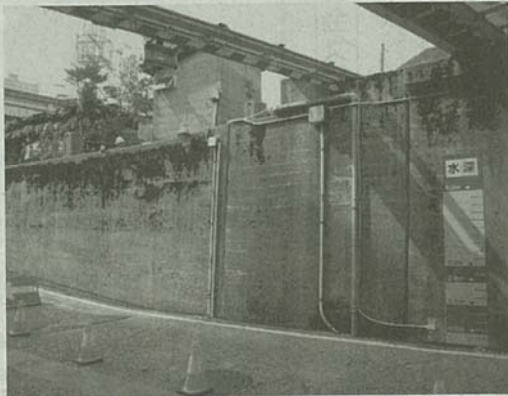


# IoTで冠水無人監視

## 掘り下げ式道路向け



IoTを活用し、冠水すると警報を出すシステムを開発する(実証実験中のアンダーパス)

水位を検出するセンサーを搭載した回転灯をアンダーパスに設置し、それにインターネットを通じてメールを送信する機能を持たせる。アンダーパスが冠水すると、水位に応じた通報を道路管理事務所に送信するとともに、回転灯を点灯させて通行車両に警告する。現在、富山県内のアンダ

【富山】アイベック(富山市、東出悦子社長、076・438・0808)はIoT(モノのインターネット)を活用して、アンダーパス(立体交差で下になる掘り下げ式の道路)が冠水すると、警報を出すシステムを開発する。ゲリラ豪雨などでアンダーパスに水が急激にたまり、通行ができない状態でありながら自動車が進路するトラブルを防ぐ。3月をめどにシステムを完成させて商品化を目指す。

# アイベック、警報システム 回転灯点灯車の進入事故防止

建設・エネルギー・生活

アンダーパスで実証実験を進めている。近年はゲリラ豪雨の多発で、アンダーパスの冠水に伴う事故が増。管理事務所による道路の封鎖が間に合わ

ず、冠水に気づかない自動車が進路する事故が全国的に起きている。そのため、同社が顧客から相談を受けたのをきっかけとして、IoTによる管理システムの事業化に乗り出した。同社は非破壊検査によるインフラやプラントなどの点検業務を手がけており、17年度からは「IoT開発部」を設置し、点検分野でのIoT活用を積極的に進めている。今回の開発もその一環となる。

そのために、同社が顧客から相談を受けたのをきっかけとして、IoTによる管理システムの事業化に乗り出した。